



Sustainability Transformation
Awards

第9回SXアワード説明会資料 ダウンロード版

2026.02.26



一般社団法人サステナブル経営推進機構

Sustainable Management Promotion Organization

1. SXアワード 募集対象

日本国内において

- ①カーボンニュートラルの達成、
 - ②サーキュラーエコノミーへの対応、
 - ③DX化の促進、
 - ④ESG対応、
 - ⑤その他「持続可能な社会づくりへの貢献」
- を含む①～⑤に寄与する**製品・サービス・ソリューション・活動**など（関連タグを参考）に関わる事業者あるいは活動主体を対象とします。

※産業分野などは特に問いませんが、本アワードは国内市場における取組を対象としております。

※応募書類は原則として日本語にてご提出ください。

1. SXアワード 募集対象（関連タグ）

SX・経営変革系

- ・ サステナビリティトランスフォーメーション（SX）
- ・ トランジション戦略
- ・ バックカスティング
- ・ マテリアリティ
- ・ 人的資本経営

社会実装・行動変容

- ・ 行動変容デザイン
- ・ 市民参加・共創
- ・ マルチステークホルダー連携
- ・ 官民連携
- ・ 産官学連携

自然・地域・レジリエンス

- ・ ネイチャーポジティブ
- ・ 自然資本
- ・ 地域脱炭素

- ・ ローカルSX
- ・ 防災・減災
- ・ 社会インフラ強靱化

評価・可視化・信頼性

- ・ LCA（ライフサイクルアセスメント）
- ・ カーボンフットプリント（CFP）
- ・ 環境価値の可視化
- ・ インパクト評価
- ・ 非財務情報開示
- ・ グリーンウォッシュ対策
- ・ 第三者認証・検証

技術×SX

- ・ デジタルグリーン
- ・ GX（グリーントランスフォーメーション）
- ・ スマートシティ／スマート農業
- ・ データドリブン経営
- ・ トレーサビリティ

1. SXアワード 募集対象

(1) 有形物を含む取り組みについて

製品、技術等の有形の対象物は、日本国内において、すでに市場に提供されていることを応募条件とします。応募単位は、特定の機種・形式、サービスごととなりますが、シリーズでの応募も可能です。なお、応募時点で市場に提供されていない製品であっても、**審査開始時点（2026年4月1日時点）に製品の確認ができ、審査結果発表時点（2026年9月1日時点）までに市場に提供されることが確実なもの**については応募可能。

(2) 無形物の取り組みについて

製品・技術の有形の対象物以外の無形物の取り扱いについては、例えば、カーボンニュートラルの達成を視野にした事業活動、脱炭素・経済循環など地域のポテンシャルを活用した活性化の取り組み、サービス、ソリューション、IoT/AI/ビッグデータを活かしたビジネスモデル、金融サービスなど、応募主体は、法人、個人またはグループとします。日本国内において、**応募締切日時点で提供開始から原則6ヵ月以上の実績**を有するサービス・活動等を対象とします。

2. 賞の種類

●SXアワード大臣賞（関係省大臣賞予定）

<賞状、副賞>

- 最も優れた取り組みであると選考委員会による選考を経て、後援省庁からの推薦を受けた案件について、審査委員会が審査決定し、賞が贈られます。

●SXアワード優秀賞

<賞状、副賞>

- 優れた取り組みであると選考委員会から選考を受けた案件について、審査委員会が審査の上、賞が贈られます。

●SXアワード奨励賞

<賞状>

- 今後の発展が期待される案件について選考委員会が選考し、審査委員会が審査の上、賞が贈られます。



3. 受賞による主なメリット

1. 企業価値・信頼の向上

- ESG評価・IR資料での活用により非財務情報の強化に貢献します

2. 社外発信力の強化

- 公式サイト・リリース等に紹介、認知向上やブランド価値向上します

3. 連携機会の創出

- SX領域に積極的な企業・自治体等とのネットワークが広がり共同プロジェクトや新規事業の可能性が上がります

4. 名称変更元年としての高い注目度

- 名称変更後の初年度、社会的評価・外部注目度が高いです

4. 応募方法

SXアワードのウェブページからお申し込みください。

「第9回SXアワード応募申込書」のエントリーサイトに必要事項を記入の上、2026年3月31日（火）までに応募してください。

審査は「第9回SXアワード応募申込書」の記載を中心に行いますので、記載漏れがないようにお願いします。なお、郵送による応募は受け付けません。



応募詳細・募集要項は、こちらのQRコードから



応募申込書は、こちらのQRコードから

第9回SXアワード応募申込書

1. 応募対象について
2. 応募する会社・団体について
3. 共同で応募する会社・団体について
4. 応募対象の詳細について
5. 応募対象に関する自己評価と根拠
6. 任意資料
7. チェックリスト

SXアワードは、日本国内において①カーボンニュートラルの達成、②サーキュラーエコノミーへの対応、③DX化の促進、④ESG対応、⑤その他「持続可能な社会づくりへの貢献」を含む①～⑤に寄与する製品・サービス・ソリューション・活動など（関連タグを参考）に関わる事業者あるいは活動主体を対象とします。
産業分野などは特に問いませんが、本アワードは国内市場における取組を対象としております。
応募書類は原則として日本語にてご提出ください。

■関連タグ

【SX・経営変革系】 サステナビリティトランスフォーメーション（SX）／トランジション戦略／バックカスティング／マテリアリティ／人的資本経営
【社会実装・行動変容】 行動変容デザイン／市民参加・共創／マルチステークホルダー連携／官民連携／産官学連携
【自然・地域・レジリエンス】 ネイチャーポジティブ／自然資本／地域脱炭素／ローカルSX／防災・減災／社会インフラ強化
【評価・可視化・信頼性】 LCA（ライフサイクルアセスメント）／カーボンフットプリント（CFP）／環境価値の可視化／インパクト評価／非財務情報開示／グリーンウォッシュ対策／第三者認証・検証
【技術×SX】 デジタルグリーン／GX（グリーントランスフォーメーション）／スマートシティ／スマート農業／データドリブン経営／トレーサビリティ

※関連タグは個々だけでなく、それぞれの連携やトレードオフを鑑みた内容も対象となります。

この申込フォームは、右下「入力内容保存」にて、作成途中でも保存することができます。

申込日 *

年-月-日

1. 応募対象について

応募名称 *

※応募後の名称変更不可のため正式名称を正確に入力してください

4. 応募のポイント① 応募名

SXアワード募集要項のページにあるボタンからダウンロード可能です。

応募申込書(下書き用Word)
応募の際の下書きにご利用ください

重要項目①

【応募名称】 必須

→プレスリリース原稿作成に使用しますので、正式名称を正確に入力してください。

受付後は変更できませんのでご注意ください。

第9回 SX アワード応募申込書（下書き用）

※この申込書は応募の際の下書きにご利用ください。なお、本 Word では申請ができませんので、事前の応募内容検討にのみご活用ください。

1. 応募対象について

応募名称**必須**

※応募後の名称変更不可のため正式名称を正確に入力してください

応募名称のふりがな**必須**

※記号・英数字の読み方も入力してください

アイテム種別**必須**

発売(有形対象物) 発売予定(有形対象物のみ選択可) 提供(無形対象物)

※募集対象の有形・無形等を選択してください。

発売・提供開始 年月日**必須**

※サービスは原則 6 か月実績です

製品分類番号

※応募分類に最も当てはまる番号を選択してください

4. 応募のポイント② 応募対象の概要

重要項目②

【応募対象の概要】 必須

300字以内で応募対象に関する全体概要（環境負荷の低減・社会的側面・経済性の観点からその特徴や独創性を考慮した内容）を入力してください。

→こちらの記載内容は受賞団体決定後、プレスリリース原稿作成に使用しますので、箇条書きではなく、文章で入力してください。

受付後は変更できませんのでご注意ください。

3. 応募対象の詳細について

選考審査の参考とするため、以下の項目についてご記入ください。

応募資格と応募上の注意事項について**必須**

■注意事項についての確認をお願いします。

※募集要項にある上記の応募資格と応募上の注意をご確認いただき、了承できない場合は応募できません。

【応募対象の概要】 **必須**

300字以内で応募対象に関する全体概要（環境負荷の低減・社会的側面・経済性の観点からその特徴や独創性を考慮した内容）を入力してください。

※受賞団体決定後、プレスリリース原稿作成に使用しますので、箇条書きではなく、文章で入力してください

【応募対象に関する過去の受賞歴】

応募対象は過去3年間（2023年1月～）に他の賞を受賞している場合は賞の概要を入力してください

4. 応募のポイント③ 最重要！！

重要項目③

【環境面、社会面、経済面】 アピールポイント 必須

→ **最重要！！** こちらの記載内容を
中心に審査を行います。

- ・【アピールポイント】当該審査項目に関して、最も訴求したい強み（要点）を簡潔に記載してください。100字程度

- ・【根拠】その強みを裏付ける具体的な取組内容・実績・考え方等を、下欄にて詳述してください。1000字程度

4. 応募対象に関する自己評価と根拠

応募対象について、「環境面」「経済面」「社会面」の3項目におけるそれぞれの最も訴求したい強み（要点）と、その根拠となる詳述をそれぞれ1000字以内で入力ください。

【環境面】アピールポイント必須

【アピールポイント】当該審査項目に関して、最も訴求したい強み（要点）を簡潔に記載してください。

※100字程度

【根拠】その強みを裏付ける具体的な取組内容・実績・考え方等を、下欄にて詳述してください。

※1000字程度

【社会面】アピールポイント必須

【アピールポイント】当該審査項目に関して、最も訴求したい強み（要点）を簡潔に記載してください。

※100字程度

【根拠】その強みを裏付ける具体的な取組内容・実績・考え方等を、下欄にて詳述してください。

※1000字程度

【経済面】アピールポイント必須

【アピールポイント】当該審査項目に関して、最も訴求したい強み（要点）を簡潔に記載してください。

※100字程度

【根拠】その強みを裏付ける具体的な取組内容・実績・考え方等を、下欄にて詳述してください。

※1000字程度

4.応募のポイント④ 動画によるプレゼント

任意情報

① 参考資料

(PDF10ページまで)

製品写真または概要図

(PDF等1ページ)

② 動画

プレゼンテーション動画

(5分以内)

5. 任意資料

①参考資料

説明資料、製品写真、概要図等、参考資料があればPDF10ページ以内で添付してください

②動画

5分以内のプレゼンテーション動画のダウンロード可能なURLを入力してください

※任意資料の有無、ページ枚数は審査への影響はございません

任意資料

6Mバイトまで

①参考資料

※PDF 10ページまで1ファイルのみ添付可

※ファイル名は「応募名称」がわかるように設定してください

②動画

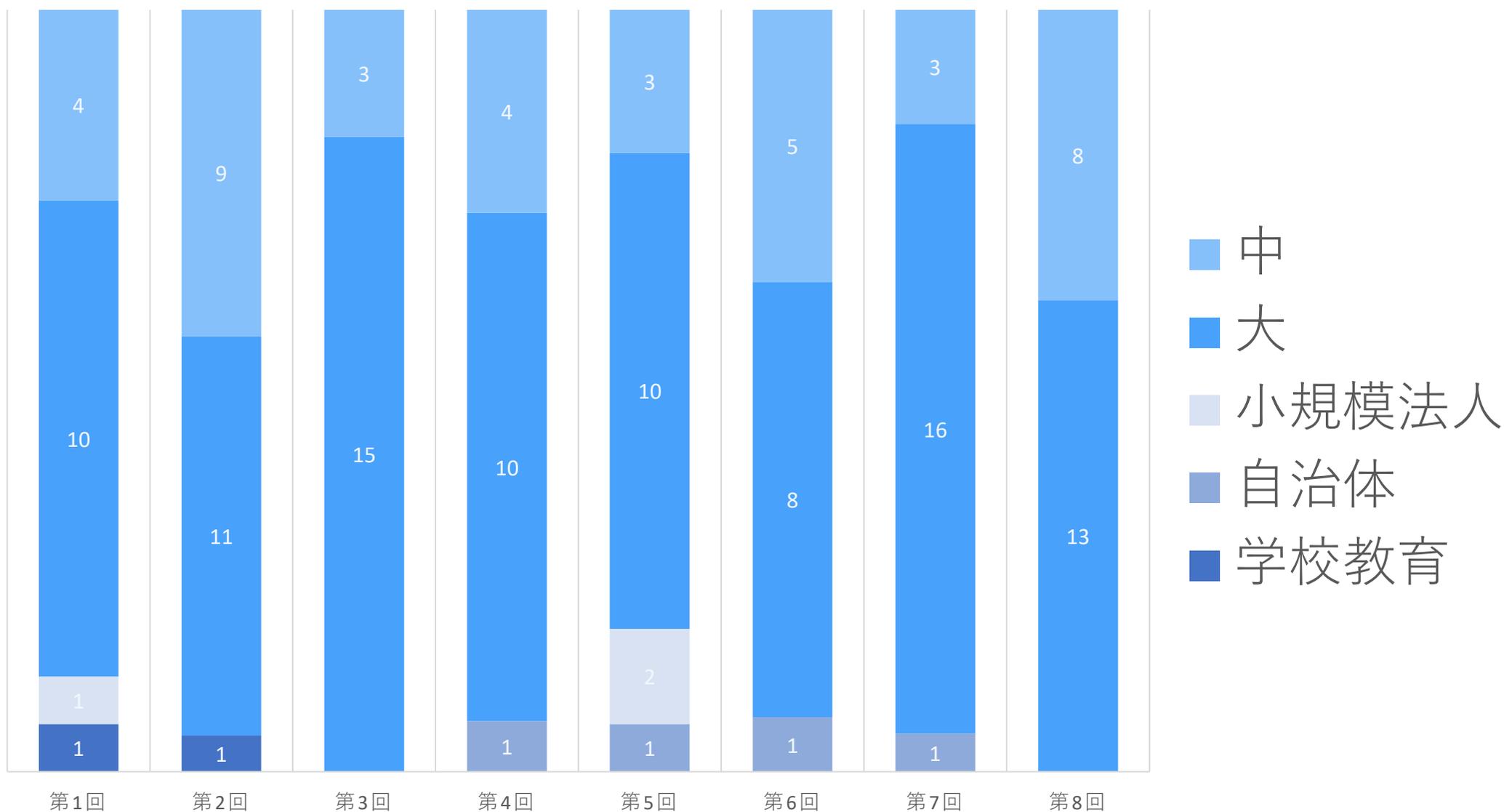
・プレゼンテーション動画(5分以内)

・ファイル形式:MP4形式(H.264 又は H.265)

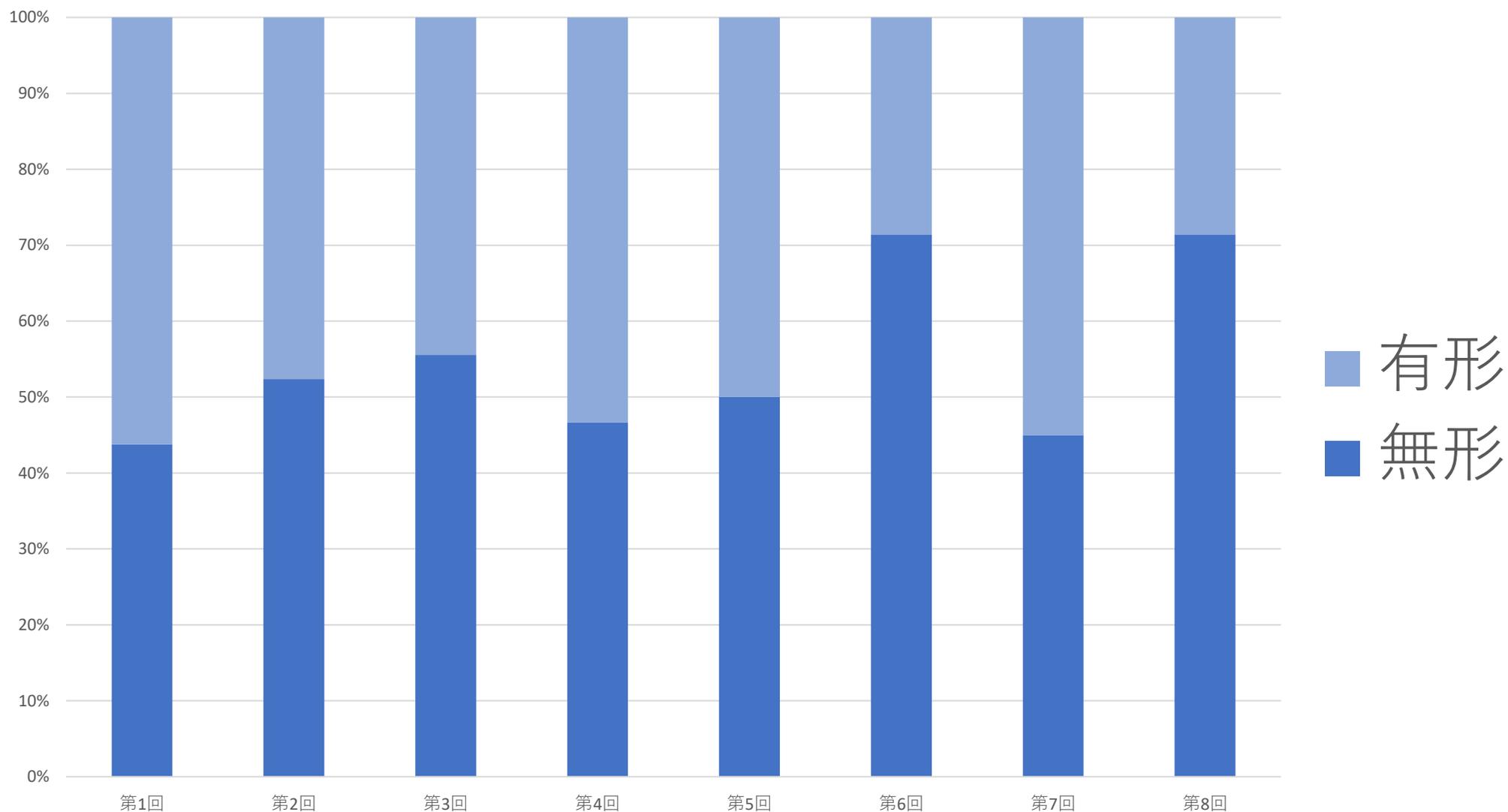
・クラウドストレージ(Google Drive、OneDrive等)に保存しダウンロード可能なURLを記載してください。

※動画共有サイト(YouTube等)へのアップロードのみの提出は原則不可とします。

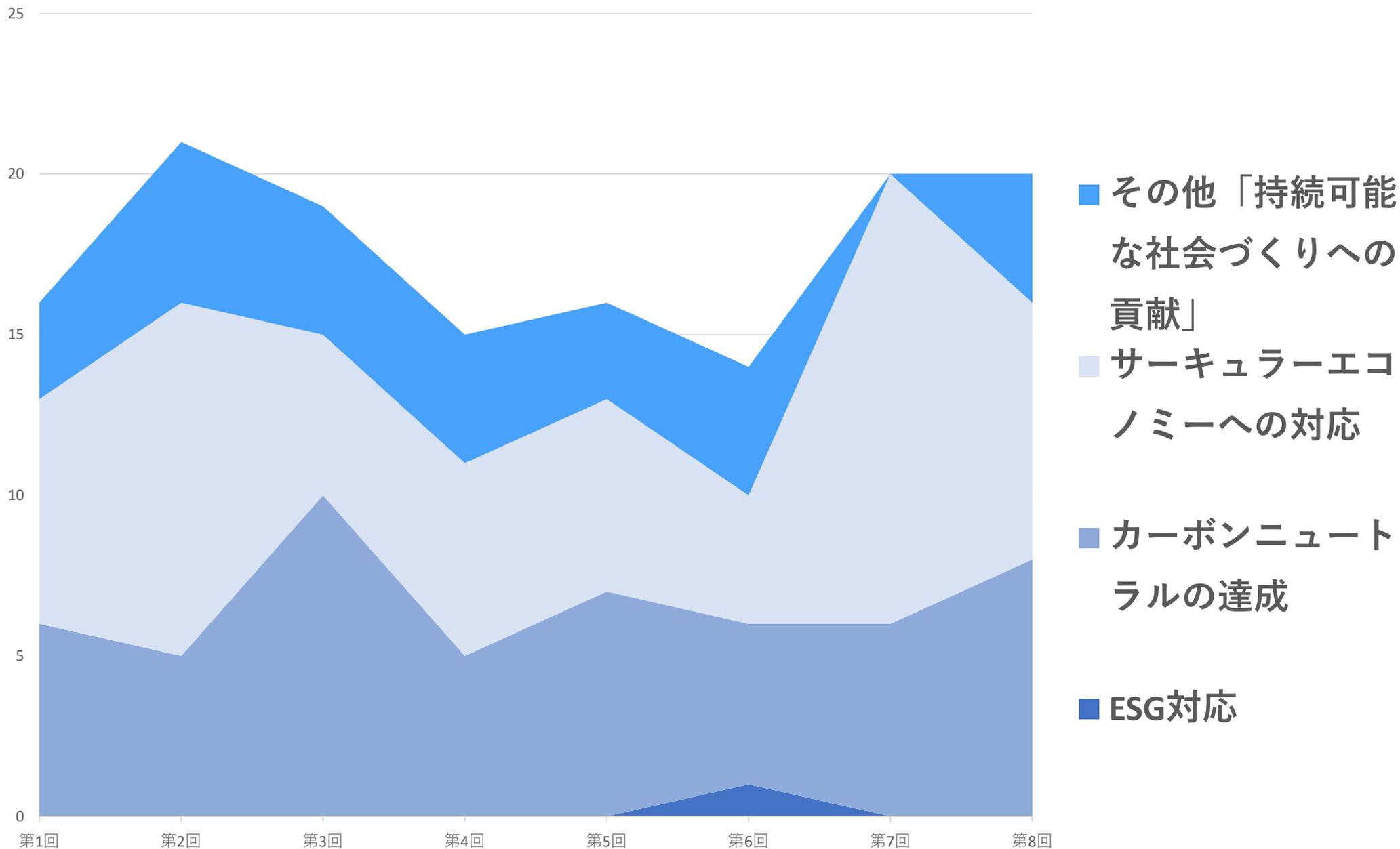
5. 受賞事例傾向 受賞企業の規模の構成推移



5. 受賞事例傾向 有形/無形の構成推移



5. 受賞事例傾向 受賞回毎のテーマ別受賞数推移



6.スケジュール

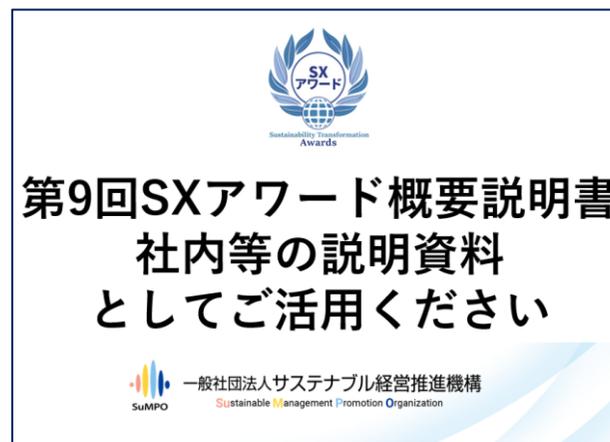


Sustainability Transformation
Awards

- 募集期間 2026年2月1日(日)～3月31日(火)
 - 結果発表 2026年9月1日(火)
 - 表彰式 2026年9月29日(火)
- 会場イイノホール (予定)

SXアワード概要説明書のスライド (PDF)

SXアワード募集要項のウェブページからダウンロードいただけますので、社内等の説明資料にご活用ください。



7. 質疑応答 応募に関する主な疑問点を10項目で網羅的に解説します

Q1. 応募フォームに記載した内容は、すべて公表されますか？

A1. 公表されるのは、

- 応募名称
- 応募概要（300文字）

のみです。環境面・社会面・経済面の詳細記載、その他の記入内容、参考資料（PDF・動画等）は公表されず、審査員および事務局内でのみ使用されます。

Q2. ソリューションではなく、単一の商品でも応募できますか？

A2. はい、有形（単一商品）での応募も可能です。当該商品によって、環境面・経済面・社会面それぞれの価値がどのように生まれているかを、言語化して説明できれば問題ありません。なお、SXの観点から、3つの側面すべての記載が必須となります。

Q3. 複数企業による共同応募は可能ですか？

A3. はい、複数企業による共同応募は可能です。表彰時も連名での表彰となります。事務局との連絡窓口として、代表企業（代表者）を1社指定してください。過去には3社程度の連名事例があります。

7. 質疑応答 応募に関する主な疑問点を10項目で網羅的に解説します

Q4. 業界横断的なコンソーシアム型（複数社連携）の取り組みは、どのように評価されますか？

A4. 共同プロジェクトとしての取り組み・サービス・商品そのものが評価対象となります。個別企業ごとの役割分担を細かく評価するものではなく、連携によって生まれた価値や成果を重視します。

Q5. 対象製品について、「4月1日時点で製品の確認ができる」とは、製造開始が必要という意味でしょうか？

A5. 4月1日時点で製造が開始されている必要はありません。ただし、製品としてカタログ等で確認できる状態であることが必要です。

なお、9月1日時点で販売開始されていない場合、受賞対象となった場合でも受賞が取り消される可能性があります。

Q6. 1社あたりの応募件数に制限はありますか？

A6. 同一の取り組み・サービス・商品でないことが確認できれば、複数件の応募が可能です。

7. 質疑応答 応募に関する主な疑問点を10項目で網羅的に解説します

Q7. 参考資料（PDF）の有無は審査に影響しますか？

A7. 参考資料の有無そのものが評価を左右することはありません。提出された場合は、参考情報として審査員が確認します。

Q8. 動画は複数本を提出しても問題ありませんか？

A8. 動画は1本にまとめて、合計5分以内であれば提出可能です。複数の動画を提出することはできませんので、編集して1本にまとめてください。

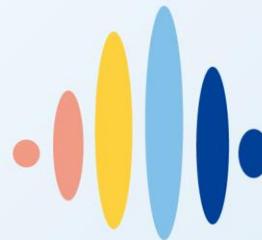
Q9. 今回から動画提出が任意で追加された理由は何ですか？

A9. 過去の応募者アンケートで寄せられた意見を踏まえ、慎重に検討した結果、今年度から任意資料として動画提出を可能としました。プレゼンテーション動画なども含め、戦略的にご活用いただけます。

Q10. 表彰式はエコプロ展のステージで行われますか？

A10. 今年度はエコプロ展とは別開催となります。表彰式は9月29日(火)イイノホール（霞ヶ関駅直結）での開催を予定しています。

さんぽ わざ
心豊かな未来をSuMPOの業で創ります



SuMPO

Sustainable Management Promotion Organization

一般社団法人サステナブル経営推進機構

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-14-8

KANDA SQUARE GATE 4階

ホームページ <https://sumpo.or.jp>